

令和2年度2学期終業式あいさつ

皆さん、こんにちは。

今日で2学期が終わります。8月中旬から今日まで本当に長い2学期でした。今日は2学期を少し振り返りながら、皆さんにメッセージを送りたいと思います。

9月には学年ごとの分散開催という新しい形での暁高祭がありました。文中の皆さんのリーダーシップのもと、3年生の大劇、2年生の小劇、1年生の映像、文系クラブの出し物など、「暁高祭しか勝たん」というテーマ通り最高のパフォーマンスでした。そして、毎日の授業や部活動に加え、沖縄への修学旅行や遠足、球技大会、課題研究など、皆さんの無限の可能性をたくさん感じることができた2学期でした。皆さん、ありがとうございました。

今年も残すところあと1週間となりました。今年の世相を表す漢検の漢字には「密」が選ばれましたが、皆さんが今年の漢字一字を選ぶとしたら、どのような漢字を選びますか？ 私は迷わず「命」という漢字を選びます。今年新型コロナウイルスの影響で、今まで以上に大切な命を守ることが語られた年でした。そして、医療や福祉など、大切な命を守る仕事に従事している人、いわゆるエッセンシャルワーカーと呼ばれる人たちへの感謝が述べられた1年でもありました。

歳末のこの時期には、「感謝」や「ありがとう」という言葉がよく似合います。人は何かをしてもらった時に感謝の気持ちを込めて「ありがとう」と言います。「ありがとう」はたったの5文字ですが、言った方も言われた方も心が温くなる最も美しい日本語ではないかと私は思います。諸説はありますが、ありがとうは「有り難し」が語源で、「滅多にない」という意味ですから、対義語は「当たり前」になります。

今年、「毎日登校し、授業を受け、部活動をする」、「文化祭などの行事やクラブの大会に参加する」、今まで「当たり前だ」と思われてきた日常がいかに素晴らしいものであったかに改めて感謝する1年でした。そして、皆さん一人ひとりも家族や友達、先生など、様々な人に支えられて2学期を過ごしてきたはずです。

そこで、「ありがとう」という言葉を一步進めてみませんか。たとえば、今日家に帰った時、家の人に「2学期ありがとう」と言ってみてください。今日HRが終わった後、担任の先生に「2学期ありがとうございました」と言ってみてください。身近な人に改めて「ありがとう」と言うのは照れくさいかもしれませんが、きっと言った方も言われた方も温かい気持ちになれるはずです。

2学期は今日で終わりますが、2学期を支えてくれた人たちへの感謝の気持ちを忘れずに、1年のまとめとなる3学期を迎えてください。

特に3年生の皆さんはこれからが正念場ですね。体調管理をしっかりと、自分を信じて、最後まで諦めずに頑張ってください。

新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。感染予防に努め、健康に十分留意して、新年を迎えてください。

皆さんの3学期の頑張りを期待して、終業式の挨拶とします。